



Sustainability Book **2020**

サステナビリティブック

醸造を原点とする^{テクノ}技術と^{アート}感性で、 心豊かな循環型社会への貢献を目指します。

フジワラテクノアートは、1933年の創業以来、醤油、味噌、清酒、焼酎といった醸造食品の製造設備づくりを事業の柱に掲げ、技術、ノウハウに磨きをかけてまいりました。

醸造食品は、日本の千年の歴史の中で確立した、麹菌や酵母、乳酸菌などの有用微生物を巧みに利用したバイオプロセスによって生み出されます。私たちが醸造で培ってきた微生物のチカラを最大化する技術は、化石依存型社会から心豊かな循環型社会への移行にとって重要であり、私たちが社会に対して果たすべき役割はますます大きくなっていると考えています。

その想いのもと、2019年に2050年の企業イメージを描いた開発ビジョン2050を策定しました。

開発ビジョン2050 世界で「微生物インダストリー」を共創する企業

フジワラテクノアートのDNAである「お客様のために、社会のために尽くす」というまっすぐな信念をこれからも大事にしながら、お客様のため、社会のため、未来に向けた技術革新に全力で取り組みます。

株式会社フジワラテクノアート代表取締役社長
藤原 恵子



企業ミッション

醸造を原点とし、技術と感性を高め、
世界中の人々がともに喜び合える感動に満ちた社会を実現する

心豊かな循環型社会への貢献が
企業ミッションの達成につながる

開発ビジョンの目的

心豊かな循環型社会への貢献

安心安全な社会の実現

環境問題の解決 エネルギー問題の解決 食糧問題の解決 豊かな食文化の追求

開発ビジョン2050

世界で【微生物インダストリー】を共創

開発分野

微生物による
新素材生産
システムの開発

次世代醸造
プラント
システムの開発

微生物ノウハウに
基づく食糧生産
システムの開発

開発ビジョンの目的

開発ビジョンの目的は「心豊かな循環型社会への貢献」です。それを目指すルートとして「環境問題の解決」「エネルギー問題の解決」「食糧問題の解決」「豊かな食文化の追求」という4つの分野へのアプローチを試みます。手段となるのは「微生物インダストリー」で、微生物の潜在能力を引き出し広く利用する産業分野のこと。麴づくりで培った固体培養技術が重要な基盤技術の一つとなります。

世界で微生物インダストリーを共創

バイオによる環境・エネルギー問題への取り組みは、新たな産業振興や経済成長へと結びつけることで一気に加速します。ただし、産業として成立させるには、機械化による高い生産性とコスト削減が必須です。私たちが得意とする固体培養技術は、有用微生物の大量培養により酵素などの有価物を効率よく生産するもので、バイオ技術の産業化への道を開く基盤技術となります。今後も産学官の連携で、「共に想い、共に創る」という共創により、微生物インダストリーを世界中で展開していきます。

今後、注力する開発分野

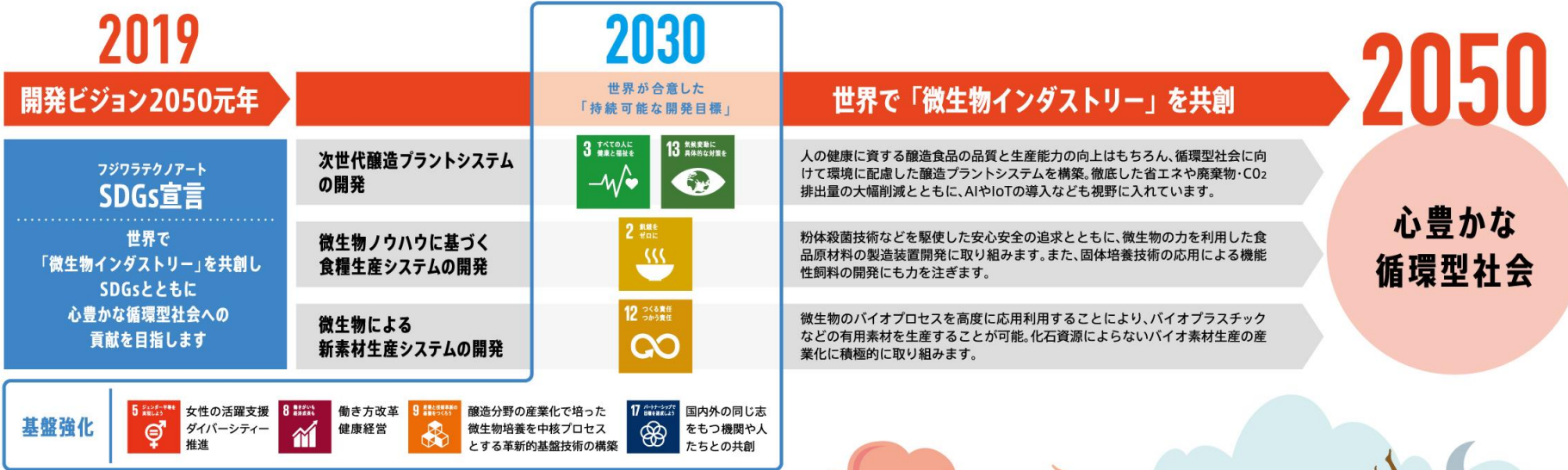
- 次世代醸造プラントシステムの開発
品質と生産性の向上はもちろん、循環型社会に向けて環境に配慮した醸造プラントシステムを構築。徹底した省エネや廃棄物・CO2排出量の大幅削減とともに、AIやICTの導入なども視野に入れています。
- 微生物ノウハウに基づく食糧生産システムの開発
次世代粉体殺菌技術などを駆使した安心安全の追求とともに、微生物の力を利用した食品素材製造装置の開発に取り組みます。また、固体培養技術の応用による機能性飼料の開発にも力を注ぎます。
- 微生物による新素材生産システムの開発
微生物のバイオプロセスを高度に応用利用することにより、エネルギーやバイオプラスチックなどの有用素材を生産することが可能。化石資源によらないバイオ素材生産の産業化に積極的に取り組みます。

ゴールは2050年

2050年はゴール地点であるとともに、発想やアイデアのスタート地点でもあります。2050年、社会はどんな技術を求めているのか。そこから逆算して、今から種を蒔き、開花の時を待つ。つまり、未来を起点とした行動計画が「開発ビジョン2050」なのです。目指すのは、**心豊かな循環型社会**。その実現に向け、私たちは総力を結集して動き始めます。

フジワラテクノアートSDGs宣言

フジワラテクノアートの開発ビジョン実現に向けた技術開発や基盤強化の活動は、SDGsの達成にも通じ、SDGsの17項目のうち特にかかわりの強い目標として以下の項目に取り組みます。



フジワラテクノアート重点SDGs



一技術開発の活動一

開発分野	活動概要	開発テーマ	対応するSDGs									
次世代醸造プラントシステムの開発	醸造食品にはその製造過程での微生物の働きに由来するアミノ酸や、酵素、酵母、乳酸菌などの健康に資する成分が豊富に含まれている。当社は、醸造食品の品質・生産性向上に貢献する醸造設備・プラントを持続的に開発。それを全国、世界に展開することで、より多くの人が醸造食品により健康を増進することを目指す。	既存装置改良	2	3		8	9	12	13	17		
		圧搾設備	2	3								
		予知保全	2			8	9				17	
		安全設計基準				8	9	12				
		種麹製造装置	2	3		8	9					
		ICT	2			8	9				17	
		AIシステム	2			8	9				17	
		AIベクトル				8	9					
		醸造工程でロスしているエネルギーの再利用システム、画期的な醸造プロセスによるCO2排出量の大幅削減等を実現するシステム、装置等の開発により、環境問題、エネルギー問題の解決を目指す。	新蒸煮システム	2			8	9	12	13	17	
			製麹装置のエネルギー回収システム				8	9	12	13	17	
微生物ノウハウに基づく食糧生産システムの開発	醸造で培った技術をもとに粉体殺菌装置を開発。従前の殺菌技術（加熱殺菌や放射線殺菌等）では実現しえない品質と確実な殺菌が可能となる。適用粉体を拡大する開発を進め、粉体を原料とする食品の消費期限が延長に貢献する。	粉体殺菌	2	3			9	12			17	
	固体培養技術による機能性飼料を開発。より効率的に家畜が増体したり、健康状態を向上させたりする飼料開発により、世界的な人口増大によるタンパク質危機解決を目指す。	機能性飼料	2	3			9	12			17	
微生物による新素材生産システムの開発	微生物のバイオプロセスを高度に応用利用し、バイオプラスチック等の有用素材を生産するシステムの開発により、化石資源によらないバイオ素材生産の産業化に貢献する。	バイオ素材高生産システム	2	3			9	12			17	
横断テーマ	固体培養を醸造のみでなく多様な分野へ展開し、固体培養に関する社内知識の集約化に取り組む。	固体培養展開	2	3		8	9	12	13	17		
	既存テーマの推進、新テーマの創出につながる、情報リサーチ、共有に取り組む。	情報リサーチ・フォロー	2	3		8	9	12	13	17		

フジワラテクノアート重点SDGs



一 基盤強化の活動一

強化分野		活動概要	対応するSDGs	
ダイバーシティ推進	ダイバーシティ推進委員会設置		5	8
	障害者雇用制度の整備、実施			8
	グローバル人材の管理職登用			8
	定年後再雇用の整備、運用			8
	ハラスメント防止に向けた取組の実施		5	8
働き方改革	ノー残業デイ実施－毎週木曜日			8
	年間休日の確保－120日以上			8
	時間単位有給休暇制度の運用			8
女性の活躍推進	管理職、プロジェクトリーダーに女性を登用し、活躍推進	女性社員比率 18.4%	5	
		係長級女性比率 20.4%	5	
		役員女性比率 50%	5	
		女性プロジェクトリーダー 8名	5	
		女性が輝く男女共同参画推進事業所認証	5	8
育児支援	企業主導型保育園との提携		5	8
	看護休暇制度（有給休暇とは別枠）の運用		5	8
	妊婦検診特別休暇制度（有給休暇とは別枠）の運用		5	8
	短時間勤務制度の運用		5	8
介護支援	介護休暇制度（有給休暇とは別枠）の運用			8
	介護休業分割取得			8

フジワラテクノアート重点SDGs



一基盤強化の活動一

強化分野	活動概要	対応するSDGs				
健康経営	ストレスチェック実施	3	8			
	健康診断、再検査フォロー	3	8			
	人間ドック、再検査フォロー	3	8			
	残業時間管理の徹底	3	8			
	喫煙ルーム設置、完全分煙化	3	8			
	インフルエンザ予防接種実施	3	8			
	健康推進イベントの実施	3	8			
	メンタルヘルス対策の実施	3	8			
事業継続	フジワラテクノアート事業継続計画の策定	3	8	9		
	備蓄品確保、防災対策の実施	3	8	9		
IT経営	文書回覧システムの導入、運用			9	12	13
	勤怠管理システムの導入、運用		8	9		
	全社員コミュニケーションツールの導入、運用		8	9		
	生産管理システムの刷新、運用			9		
	WEB受発注システムの導入、運用			9	12	13
	会計システムの刷新、運用			9		
	資産管理システムの導入、運用			9		
	メール誤送信ソフトの導入、運用			9		
	人財目標管理・評価システムの導入、運用			9		

フジワラテクノアート重点SDGs

2
エネルギーを
ゼロに

3
すべての人に
健康と福祉を

5
ジェンダー平等を
実現しよう

8
働きがいも
経済成長も

9
産業と技術革新の
基盤をつくろう

12
つくる責任
つかう責任

13
気候変動に
具体的な対策を

17
パートナーシップで
目標を達成しよう

一基盤強化の活動一

強化分野	活動概要	対応するSDGs		
人財育成	ものづくり塾の創設、定期開催	8		
	資格報奨金の運用	8		
	職務発明規程による発明の奨励	8		
	社内インターンシップの導入	8		
	社会人ドクター	8		
地域貢献	被災顧客復旧支援		9	17
	西日本豪雨被災者支援		9	17
	岡山大学・フエ大学寄付講座		9	17
	岡山大学医学部基金寄付		9	17
	岡山大学農業研究助成寄付		9	17
	ファジアーノ支援			17
	アイスダンス選手支援			17
	雄町米サミット協賛			17
	コンサート等協賛			17
	マスカット祭り協賛			17
	馬屋上体協運動会（地域）協賛			17
	吉備国際大学 Charme岡山高橋（女子サッカー）			17
	桃太郎のまち健康推進応援団参画	3		17
	心豊かな岡山っ子応援団参画	3		17